



冬の楽しみ方

札幌の冬は、雪で閉ざされたイメージが強いようですが、寒冷地でしかできない遊びやスポーツもたくさんあります。もっと冬を楽しんでみませんか？

昨冬区内各地で行われた雪中運動会の様子

※冬を楽しむ屋外イベント

今年も冬がやってきました。一年のほぼ三分の一が雪で覆われる札幌。昨冬、区内には約五メートルもの雪が降りました。

寒さで、つい家に閉じ込められがちになるこの季節、地域では、さまざまなイベントが行われています。雪中運動会が開かれる地区も多く、その引競走や、足場の悪い雪の上での駆けっこ、ゲームなどを通じて、地域の交流を深めています。思うように動くことができない雪上での競技に、大人も子どもも夢中になり、場内は歓声と笑いに包まれます。

区では、多くの人とふれあいながら雪に親しみ、健康づくりに役立ててもらうため「ひがしく冬レクフェスティバル」とらんど」を開催しています。子どもたちが乗った大きなタイヤチューブをスノーモービルで引いて広場を駆け巡る「のりのりチューブ」など冬ならではのアクティビティが盛りだくさんです。

このような地域のイベントに、家族全員で参加すれば、冬の楽しい思い出作り



大人気の「のりのりチューブ」

区内の市民団体「東区☆公園ねっとわーく（代表 中村佳子さん）」も、「東区★冬の公園☆ねっとわーく大作戦」を行い、スノーキャンドル作りをします。この催しは一月十七日（土）、区内の公園などを会場に、冬の公園の利用方法について考えるた



「東区★冬の公園☆ねっとわーく大作戦」の参加申し込みは、中村方（☎791-9417）まで

ができそうですね。

※雪景色をあなたたく照らす スノーキャンドル

身近な所で気軽にできる冬の楽しみとして、スノーキャンドルを作る方が増えています。氷を作るのに時間がかかるアイスキャンドルと違ってすぐに作ることができます。子どもでも簡単にできます。雪を通してほのかに照らす、やわらかくて幻想的な光が人気です。

（助札幌市青少年女性活動協会では、二月五日（木）から十一日（祝）までの間、市内のすべての児童会館で「スノーキャンドル大作戦」を行います。昨年地域の方々や子どもたちが参加してくださったスノーキャンドルが街並みを照らしました（本誌19ページをご覧ください）。